

一杯のでんぶらソバから——まえがきに代えて 1

## ブローグ

問題解決への出口が見つかった 13

「ポストハーベスト農薬」への取り組み 14

## I アメリカ農産物の危険度を検証する

19

発ガン性殺菌剤「キヤアタン」が検出された輸入イチゴ……………20

チェックされない違反農薬 24

「イチゴの神様」を訪ねる 25

アメリカ人が食べるイチゴは安全 26

小さくて白いうちに採ったまずいイチゴがケーキに 30

ついに農薬の散布現場を見た 34

レモンになぜ枯れ葉剤を使うのか……………36

ベトナム戦争で使われた枯れ葉剤 36

カリフォルニア州の規則を研究するのが早速だ 38

長期間貯蔵する場合に2・4-Dを使う 41

期待できる脱農薬への道 43

農薬に浸すアメリカのサクランボ……………46

サクランボの残留農薬の検査 46

サクランボから三種類の殺菌剤が検出された 48

日本向け以外にはポストハーベスト農薬を使っている 50

「日本にポストハーベスト農薬を認めるよう要望」 53

牛肉の発ガン性農薬は野放し状態……………58

農薬で一年で五〇〇〇人が発ガンする 59

輸入牛肉で一年に二三人が発ガンの可能性 61

日本人には大豆が一番危険……………67

問題点の多い輸入大豆 67

大豆が子どものアレルギーの最大原因？ 68

餌づけを始めてから奇形猿が発生した 69

大豆には臭素が残留しやすい 70

大豆には微生物農薬・BTが使われている 72

催奇形性農薬が使われている輸入トウモロコシ……………75

「ガンがいいか、奇形がいいか」 75

食用より多くの農薬が含まれる飼料用トウモロコシ 80

日本米よりはるかに高いアメリカ米の農薬残留値……………82

粳米は殺虫剤で燻蒸する 84

カリフォルニア米から殺虫剤を検出 86

虫が入りやすい米貯蔵倉庫 88

残留農薬の検出される割合が高く量も多い 91

日本の米はかなり安全だ 95

在庫と関係するポストハーベスト農薬 98

流通制度を改め、消費者の信用を得るべきだ 100

小麦ではいくつかの対応策が考えられる……………101

小麦粉・小麦粉製品から殺虫剤が検出された 101

「一〇年間、害虫がつかないことになっている」 105

希望が持てるオーストラリアの小麦 110

各国の小麦粉から何が検出されたか 115

安心して食べられる小麦製品の選び方 122

除草剤と殺菌剤をかけられるジャガイモ 124

## II 農産物輸出国の虚像と実像……………125

野菜・果物の積み出し施設を見る……………126

穀物の輸出施設——ターミナル・エレベータ……………128

積み出し施設には殺虫剤のタンクがあった 131

施設全体にも殺虫剤を散布している 135

	清潔だったオーストラリアの小麦輸出施設	139
	穀物運搬船の中でも使われる殺虫剤	140
	輸入穀物は三回以上燻蒸される	142
	ブレハーベスト農薬を見る	146
	日本では禁止された農薬も使われている	145
	オーストラリアでは完全な輪作を行っている	149
	食品の加工中にも農薬が使われている	150
	ブドウの乾燥中に殺菌剤を使用	150
	ノーチエツクの輸入加工食品	154
III	恐るべきポストハーベスト農薬汚染	155
	ポストハーベスト農薬とは何か	156
	ポストハーベスト農薬はどんなときに使うか	157
	穀物の保管方法に問題がある	159
	ポストハーベスト農薬の使用方法	160
	日本の法規制	164
	アメリカの農薬規制の体系	166
	アメリカでも農薬の使用実態はよく知られていない	167
	アメリカでの許可品目と使用の現状	169
	アメリカの許容値は非常に甘い	171
	的外れの残留農薬検査	173
	外国基準の受け入れに動く厚生省	178
	脱ポストハーベスト農薬への道	181
	進む脱農薬の実用化研究	184
IV	日本列島に氾濫する輸入食品	187
	外食産業は輸入食品を多用	188
	輸入食品に頼る学校給食	193

増加する輸入食品……………197

空港・港の検査体制……………202

成田空港……………200

横浜港……………200

エビローグ……………213

食品汚染物による障害を防ぐための十カ条……………213

「いいかげんに、ちよとよく」……………215

あとがき……………219

図表／ベルマン  
編集協力／伊藤喜代次  
鈴木邦夫